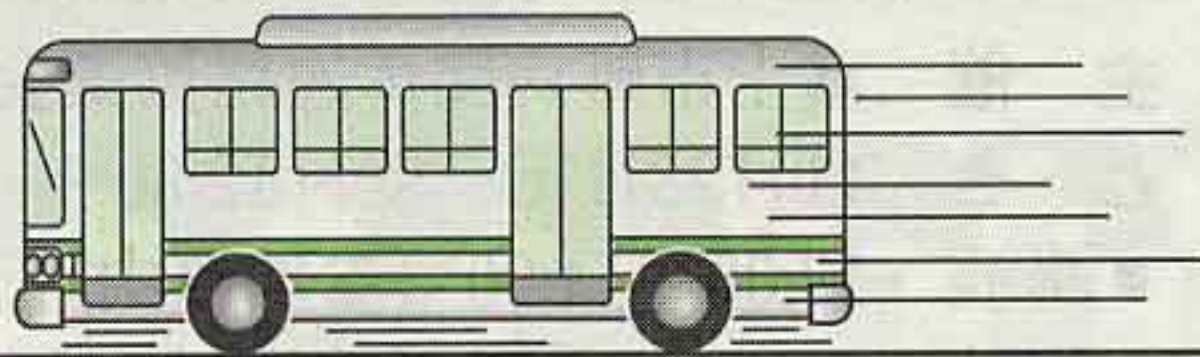


お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。
広報広聴課 ☎55-2700へご連絡ください。



市長への 手紙から

路線バスの活性化を

ことしの四月一日～十月十五日の間に三百三十件の「市長への手紙」をいただきました。今回は、寄せられた声の中から、何通かに共通していた話題「路線バス」について紹介します。

「市長への手紙」から

★ 昨年の四月に富士市に転入してきました。バスの便が少ないことに驚きました。バスをもっと充実させてほしい。

(三十代女性)

★ バスを利用することで、排気ガスが削減できたり、交通渋滞が解消されたりすると思います。バスの有効活用を。

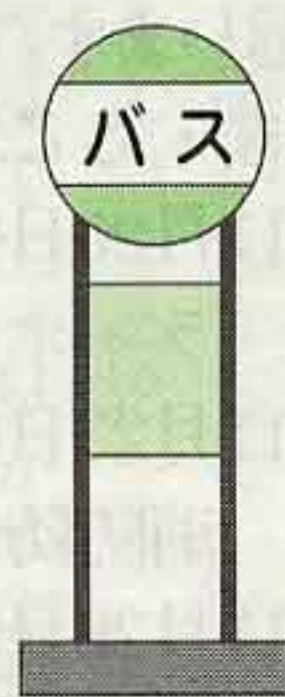
(二十代男性)

【市長からの回答】

ご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

ご意見いただきました。ご意見をもとに、路線バスの利用客数は年々減少しています。静岡県では、昭和四十三年度をピークに減少に転じ、現在ではピーク時の三割程度にまで落ち込みました。

このような状況は、富士市でも例外ではありません。富士駅～新富士駅間を例に挙げると、昭和六十三年には一日八十三



百五本が運行していました。しかし、利用客の減少に伴い、本数を減らさざるを得なくなり、現在は一日十七～二十六本となりました。そして、路線バス事業者は、多くの赤字路線を抱えています。

市では、路線バスを重要な公共交通機関であると考え、利用促進のPRや循環バス「ひまわり」の運行支援など路線バスの活性化に取り組んでいます。

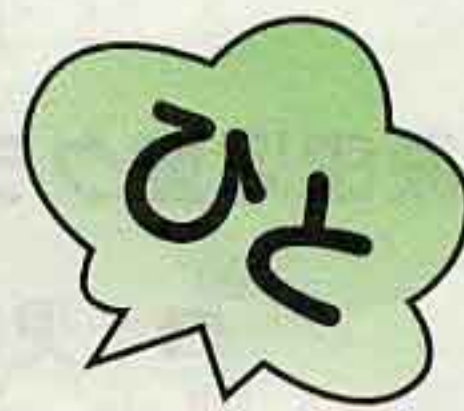
しかし、路線バスを充実させるために最も大切なことは、皆さんが積極的にバスを利用し、事業者が事業拡大を行える環境をつくることです。

今後、皆さんの意見を聞いたり、バス事業者へ働きかけたりするなど、よりよく路線バスを利用できるよう取り組んでいきたいと考えています。

※現在、事業者が市に運行支援を求めている赤字のバス路線があります。この申し出について、皆さんの声を聞くため、市民説明会を開催します。詳しくはP12をごらんください。

お問い合わせ 企画課

☎五五二七二一八



高知国体、少年女子ボウリングの個人戦、団体戦でW優勝を果たした

中野 麻希さん

(富士東高校3年 原田)



ことしの九月、高知県で開催されたよさこい国体に出場した中野さんは、少年女子ボウリングの部で、個人戦、団体戦ともに優勝という快挙を果たしました。

さらに個人戦(九ゲーム投球)では、平均二百二十六点をマークし、大会新を記録。また、二人一組で行われる団体戦は苦しみながらも、昨年の宮城国体に続き、二連覇を成し遂げました。身長百五十一センチメートルという中野さんは、小柄ながらも重さ十五ポンド(約七キログラム)のボールを使用。ボウリングの練習は週二～四回ですが、重いボールの投球に耐えられる体をつくるためのトレーニングは、毎日欠かさず行っています。

中野さんは「小学校四年生のとき、父に連れられて、ボウリング場へ行ったのが、ボウリン

グとの出会いでした。だれかに強制されるのではなく、自分から進んでボウリングの世界に入りました。中学一年生になり、財団法人全日本ボウリング協会富士クラブに所属し、それから競技として本格的に取り組みようになりました。高校一年生のとき、国体の東海ブロックで予選落ちしてしまい、とても悔しかったです。次の大会こそはと思いい、練習してきました。毎日の練習はきつく、休みなくなる日もありましたが、両親や監督など多くの人が私を支えてくれました。今回、初めて個人戦で優勝できたことがとてもうれしです。今は、頑張った自分を褒めてあげたいと思います」と笑顔で話してくれました。

来年の国体開催地は静岡県。中野さんの活躍が楽しみです。